

参拝のご案内

- 1 「てんちかねのかみさま 天地金乃神様 いきがみこんこうだいじんさま 生神金光大神様」をおまつりし、拝む目当てとして「天地書附」を掲げています。
- 2 みたま 御霊様をおまつりしています。
- 3 お願いやお礼を神様に取次ぐところです。



取次を頂く

あなたは、どのような願いがあってお参りになりましたか？
神様へ礼拝した後、けっかい 結界に進み、取次を願いましょう。日ごろのお礼やお願いなど、素直にお話してください。



2 霊前

1 神前

3 結界

◆取次の頂き方

- 結界に進み、一礼します。
- お供えをされる場合は、前の台の上に差し出します。
- 自己紹介をします。
- 続いて、参拝の理由(お礼、願いごとなど)を申し上げます。
- 一礼して退席します。



神様に祈る

神様に祈るとき、まず日ごろのお礼を申し上げ、次に真心をこめてお願いをします。例えば、受験についてのお願いをするときは、まず、ここまで勉強できたことにお礼を申し、次に、これから試験に臨むことについてお願いをします。

◆四拍手一礼

四拍手は、「四は幸せの“し”、良かれの“よ”である」との教祖の教えに基づきます。



◆心中祈念

ありのままの思いを正直に祈りましょう。



◆拝詞を唱える

広前には、「金光教拝詞集」が常備されており、自由に使用できます。



◆四拍手一礼

最後にもう一度、四拍手一礼します。





Q&A

Q. 金光教の神さまってどんな神さまですか？

A. 金光教では、万物を生かし育む天地のはたらきを神さまとして拝み、それを天地金乃神てんちかねのかみと呼んでいます。そして、その天地金乃神様から「世の中の困っている人々を助けてください」と頼まれて、日々、人の助かりのために祈り、諭してくださったのが生神金光大神いきがみこんこうだいにじんと呼ばれる金光教の教祖様です。

金光教では、その天地金乃神様と生神金光大神様をおまつりし、教祖様の生き方や教えに習い、それを生活に表していくことを信心としています。

主な祭典

元日祭（1月1日）

春季霊祭

天地金乃神大祭

秋季霊祭

生神金光大神大祭

月例祭（毎月 日）

Webで
チェック!

金光教

検索

金光教は、一人ひとりの人間が、それぞれに人間らしく生きる生き方を求めています。最寄りの教会では、身の上相談をはじめ冠婚葬祭の儀式執行を、随時承っております。

子孫の行く末を心配しなくてもよいように安心してこの世を去る日を迎えることができるように、何も不思議なことはせず、ただ、人間らしく生きていく。

生き方

道で人にあつたら「お元気ですか」と声を掛け人にものをあげる時には、良い方をあげ困っている人がいたら、できるだけのことをさせてもらう。

思いやり

食物を粗末にしないよう心がけいつも腹八分を守り
ありがたく頂く心を忘れず
人にごちそうをするときには十分にします。

食

仕事のない人は仕事を探し
仕事のある人は、世のため、人のため、わが身のためを思つて、仕事に励み
年金暮らしになったら、子や孫の安心を願いつつ
手足の動く限り働いて、家族を大切にします。

仕事

人間らしく

